

『被災して感じた人の温かさ』

熊本県 Y.I.(24)

熊本地震の時のことです。

私の家族は、父は単身赴任で県外、兄は一人暮らしで離れたところにおり、地震の際、家には母と私と愛犬の二人と一匹でした。

そのときは女二人ということで心細く不安も大きかったように思います。でも、そんなとき、父など家族もそうですが、母の兄弟など親戚も私たちを心配し水や物資をわざわざ県外から届けてくれました。次の日には仕事ですぐに帰らなければならないのに、心配して直接家に届けにきてくれた人もいました。物の面だけでなく心の面でもとても救われました。感謝しています。

実際に被災したことで、人の温かさを改めて感じ、災害があった際に自分自身もそのように助けになれるよう行動できる人間になりたいと感じました。